



惜陰の子ら

令和6年12月
鯖江市惜陰小学校
学校だより NO.18

← 済美の松も雪つりをして冬の準備完了です

12/2（月）全校朝の会 ～校長先生のお話 人権について～

12月の全校朝の会では毎年人権についてお話しています。「人権」とは「人の権利」と書きます。わかりやすく言うと「一人ひとりが大切にされ、幸せに生きること」です。子どもにとっての人権とは、きれいな水を飲み、栄養のある食べ物を食べ、清潔な服を着て、安全なお家で過ごし、暖かいお布団で寝ることができる、学校で勉強することができ、友だちと仲良く遊ぶことができる。そんな生活です。「そんなの当たり前のことでしょう？」と思う人がいるかもしれません。けれども、世界には、食べ物がない、お家がない、勉強をしたくてもすることができないなど、皆さんが当たり前だと思っている生活が、当たり前にはできない、「人権」が守られていない子どもたちがたくさんいます。もしかすると、皆さんの中にも「人権」が守られていない人がいるかもしれません。それは、暴力をうけたり、いじめられたりしている場合です。「人権」とは、「一人ひとりが大切にされ、幸せに生きること」ですから、いじめられて嫌な思いをしていたら、その人の「人権」は守られていないことになります。人権は、いつも守られていなければなりません、毎年12月4日から10日を、人権週間とし、日本中の人に人権について特に考えてほしいと考えています。

さて、日本人の詩人に谷川俊太郎という人がいます。「ぼくが目になろう」朝のつめたい水の中を、昼のかがやく光の中を、みんなは泳ぎ、大きな魚を追い出した。そうです、2年生の上の教科書にのっている「スイミー」を日本語に訳した人でもあります。実は、少し前に、谷川俊太郎さんは、亡くなりましたが、谷川さんの作品はたくさん残っています。今日は、人権週間に合わせて「いち」という作品を紹介します。

いちってね つまりぼくがね いちなのさ。僕は世界で一人きり
いちってね つまりママがね いちなのさ。ママは世界で一人きり
いちってね つまりきみもね いちなのさ。僕と君とで2になるよ
いちってね だけどちきゅうはひとつなの。僕と君とで手をつなぐ
いちってね だからはじめの数なのさ。小さいようで大きいな

『いち』という詩は、「あなたも私も世界に一人しかいないかけがえのない大切な存在。一人一人の力はちっぽけかもしれないけれど、みんなで力を合わせれば大きなことができるかもしれない。だから一人一人を大切にしよう。」という意味があると考えます。人権週間にあわせて、自分を大切にするってどういうことか、そして周りの人を大切にするにはどうしたらよいのかを考えてみてください。

12/18（水）19（木）リサイクル活用品販売会 パート2

去る10月20日（日）の、学年委員会主催によるリサイクル活用品販売会では昨年に続き、たくさんの方が来場され、販売会は大盛況でした。まだ、たくさんの活用品がありますので、2学期保護者懇談会の日に、販売会を行います。



12月表彰 おめでとう

○J A 共済全国小中学生書道コンクール 県大会

佳作 6年 有馬 美佐さん 6年 川端 柊羽さん
4年 角井 亮晴さん 1年 森 涼葉さん

○青少年読書感想文コンクール 県大会 優良賞 1年 辻岡 実優さん

市入選 1年 大塚 公輔さん 2年 本田 鳳輔さん
3年 森本 晃正さん 6年 徳永 楓奈さん

○健康な歯づくりに関する おえかき・図画・ポスターコンクール

知事賞 3年 清水 敬さん

佳作 1年 野中 瑛介さん 三仙 悠李さん 谷口 愛果さん
2年 川畑 穂貴さん 3年 山田 菜月さん 谷口 結星さん
4年 籠谷 琥珀さん 5年 別司 廉さん

○防火ポスター 福井新聞社賞 6年 川端 柊羽さん

特選 2年 齋藤 圭さん 6年 田中 見悠さん

入選 2年 河野 穂華さん 4年 高橋 茉奈さん 河野 彩華さん
4年 内田 泰輔さん 6年 長谷川結愛さん 木原 愛梨さん

○税についてのポスター優秀賞 6年 北川 珠莉さん 佳作 松田 志歩さん

○第19回MOA美術館鯖江児童作品展

実行委員長賞 6年 阪井 心乃さん

FBC福井放送賞 1年 五十子純正さん

11/29（金） 秋のおもちゃランド（1年生）



せきいんこども園、すみれ保育園の年長さんを招待しました。1年生がとっても張り切っていました。



12/4（水）こども園発表会（予行）

年長さんは「ピーターパン」の劇を役になりきって熱演していました。



最後に全員で記念撮影。年長の皆さん。4月の入学式を楽しみにまっていますね。